

住宅耐震診断補助事業

南海トラフ地震は、90年
〜150年間隔で起こっている
地震です。

次の南海トラフ地震によ
り津野町では、震度6弱か
ら震度6強程度の揺れが2
分以上続くといわれており、
今後30年以内に発生する確
率は70%〜80%といわれて
います。

耐震診断は町から診断士
を派遣し、お住まいの住宅
が地震に対して、どの程度
の安全性・強さがあるかを
診断する事業です。

この機会に、耐震診断を
受けてみませんか。

また、住宅耐震化の啓発
のため、全地区を対象に戸
別訪問を実施しています。
地区内で訪問員を見掛けま
したら、お気軽に声をかけ
てください、住宅耐震化に
ついてご相談ください。

【対象住宅】

昭和56年5月31日

以前に建築された住宅

【診断費用】

①木造住宅

診断は無料

②非木造住宅

34,572円までの補助

【お問い合わせ先】

総務課 松岡 大道

☎ 55・2311



精華地区炊き出し訓練

4月6日(木)勤労者体育
センター(白河瀬)にて精華
ファミリー主催の地域住民
を対象にした、炊き出し訓
練が実施されました。

この訓練では、津野町防
災アドバイザーの山崎水紀
夫さんによる防災座学や起
震車(地震を疑似体験する
ことができる車)体験、炊き
出し訓練を行いました。

防災座学では、避難所で
は避難者はお客さんになる
のではなく、避難者それぞ
れの特技などを活かし、避
難者による避難所運営の大
切さなどについてご講話い
ただきました。その後の起
震車体験では参加者は南海
トラフ地震で予想される最
大震度7の揺れを体験し、
その揺れの大きさに驚いて
いました。最後に、炊き出し
訓練としてカレーライス、
豚汁を作りました。災害に
より電気・ガスが止まった
ことを想定し、薪やかまど
を使った訓練でしたが、火
起こしもライターやバーナ

ーを使わず「ファイヤース
ターター」と呼ばれる火を
おこすための道具と麻紐
(着火剤の役割)を駆使して
火起こしを行ったり、羽釜
での炊飯では火加減や炊き
上がりのタイミングを見極
めるプロフェッショナルが
いたり、まさに山崎アド
バイザーの講話の中にあっ
た参加者それぞれが持つて
いる特技を活か
した訓練となり
ました。

今回の訓練は、
子どもから高齢
者の方まで幅広
い層の方が参加
し真剣に取り組
む中でも、和気あ
いあいとした雰
囲気も感じられ、
地域の防災力の
向上だけではなく、地域のコミュ
ニティの活性化
にも繋がった訓
練になったと思
います。



※皆さまのお住まいの地域
での防災活動(自主防災組
織活動)などで、困りごとや、
課題などがありましたら、
お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

総務課 危機管理室

高橋 智哉

☎ 55・2311